

DRUG

INFORMATION

2001 No. 5

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線2834）

平成13年3月9日発行

目 次

- 1 . 医薬品の採用・採用中止について 1
 - 平成 13 年 3 月 8 日の薬事委員会結果 -
- 2 . 院内処方医薬品について 4

Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。

<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/Index.htm>

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

| 医薬品名(成分名) | 規格・単位 | 薬品分類 | 会社名 |
|----------------------|-------------------|-----------------|--------------|
| アリミデックス錠(アナストロゾール) | 1mg / 錠 | 閉経後乳癌治療剤 | アストラゼネカ |
| タミフルカプセル(リン酸オセルタミビル) | 75mg / Cp | 抗インフルエンザウイルス剤 | ロシュ |
| ディオバン錠(バルサルタン) | 80mg / 錠 | アンジオテンシンⅡ受容体阻害剤 | ノバルティスファーマ |
| フリバス錠(ナフトピジル) | 50mg / 錠 | 排尿障害改善剤 | 旭化成 |
| マイスリー錠(酒石酸ゾルピデム) | 10mg / 錠 | 入眠剤 | 藤沢 |
| ロルカム錠(ロルノキシカム) | 4mg / 錠 | 非ステロイド性消炎鎮痛剤 | 大正 |
| アスプール液(塩酸イブプロフェノール) | [0.5%] 50mL / V | 気管支拡張剤 | アズウェル |
| プロトピック軟膏(タクロリムス水和物) | 5g / 本 | アトピー性皮膚炎治療剤 | 藤沢 |
| リレンザ(ザナミビル水和物) | 5mg / プリスター | 抗インフルエンザウイルス剤 | グラクソ・スミスクライン |
| アトクイックシリンジ(硫酸アトロピン) | 0.5mg / 1mL / 筒 | 鎮痙剤 | 田辺 |
| エピクイックシリンジ(エピネフリン) | 1mg / 1mL / 筒 | カテコールアミン系製剤 | テルモ |
| シプロキサ注(シプロフロキサシン) | 300mg / 150mL / V | ニューキノロン系抗菌剤 | バイエル |
| ゾラデックスデポ(酢酸ゴセレリン) | 1.8mg / 筒 | 子宮内膜症治療剤 | キッセイ |
| ビームゲン(沈降B型肝炎ワクチン) | 5μg / 0.25mL / V | B型肝炎ワクチン | 藤沢 |
| リドクイックシリンジ(塩酸リドカイン) | 100mg / 5mL / 筒 | 抗不整脈剤 | テルモ |

院内採用医薬品

| 医薬品名(成分名) | 規格・単位 | 薬品分類 | 会社名 |
|--------------------------------|----------------|-------------|---------------|
| エبرانチルカプセル(ウラピジル) | 30mg / Cp | 排尿障害改善剤・降圧剤 | 科研 |
| ガスマチン錠(クエン酸モサプリド) | 5mg / 錠 | 胃腸機能調整剤 | 大日本 |
| ゼフィックス錠(ラミブジン) | 100mg / 錠 | B型肝炎治療剤 | グラクソ・スミスクライン |
| セレジスト錠(タルチレリン水和物) | 5mg / 錠 | 脊髄小脳変性症治療剤 | 田辺 |
| タココンブ(フィブリノゲン加第Ⅷ因子) | 9.5×4.8cm / 枚 | 組織接着・閉鎖剤 | 鳥居 |
| ビスコート(ヒアルロン酸Na, コンドロイチン硫酸Na) | 0.5mL / 筒 | 眼科手術補助剤 | アルコン |
| ファルネゾンゲル(ファルネシル酸プレドニゾロン) | 25g / 本 | 経皮吸収型ステロイド剤 | 大鵬 |
| アイソボリン注(レボホリナートカルシウム) | 25mg / V | 活性型葉酸製剤 | ワイズレダリー |
| ペンフィル R 注 300(中性インスリン) | 3mL / 筒 | インスリン製剤 | ノボ・ノルディスクファーマ |
| ペンフィル N 注 300(イソフェンインスリン) | 3mL / 筒 | インスリン製剤 | ノボ・ノルディスクファーマ |
| ペンフィル 10R 注 300(二相性イソフェンインスリン) | 3mL / 筒 | インスリン製剤 | ノボ・ノルディスクファーマ |
| ペンフィル 30R 注 300(二相性イソフェンインスリン) | 3mL / 筒 | インスリン製剤 | ノボ・ノルディスクファーマ |
| ペンフィル 50R 注 300(二相性イソフェンインスリン) | 3mL / 筒 | インスリン製剤 | ノボ・ノルディスクファーマ |
| マーカイン注脊麻用高比重(塩酸ブピバカイン) | 20mg / 4mL / A | 脊椎麻酔剤 | アストラゼネカ |

院内採用中止医薬品

| 医薬品名(成分名) | 規格・単位 | 薬品分類 | 会社名 |
|------------------------|--------------------|-----------------|-----------------|
| アセナリン錠(シサプリド) | 2.5mg / 錠 | 胃腸機能調整剤 | 協和醗酵 |
| アセナリン細粒(シサプリド) | 5mg / g | 胃腸機能調整剤 | 協和醗酵 |
| アロフト錠(アフロクアロン) | 20mg / 錠 | 筋緊張性疾患治療剤 | 田辺 |
| クロフェクトン顆粒(塩酸クロカプラミン) | 100mg / g | 精神神経安定剤 | ウェルファイド |
| ケフレックスシロップ用細粒(セファレキシン) | 100mg / g | セフェム系抗生物質製剤 | 塩野義 |
| リサモール細粒(シサプリド) | 5mg / g | 胃腸機能調整剤 | ウェルファイド |
| サージセル[ガーゼ型](酸化セルロース) | 10.2×20.3cm / 枚 | 可吸収性止血剤 | ジョンソン・エンド・ジョンソン |
| ザーネ軟膏(ビタミンA油) | 5mg / g | 外用ビタミンA剤 | エーザイ |
| ヴェノグロブリン-1H(人免疫グロブリン) | 2,500mg / 50mL / V | 血漿分画製剤 | ウェルファイド |
| トブラシン注(トブラマイシン) | 90mg / 1.5mL / A | アミノグリコシド系抗生物質製剤 | 塩野義 |

在庫がなくなり次第，処方中止とします。

製剤変更医薬品

| 医薬品名 | 規格・単位 | 薬品分類 | 会社名 | 変更年月 |
|----------------|----------------------------------|------------|-----|-------|
| エポジン注 → エポジンS注 | 750, 1,500, 3,000, 6,000I.U. / V | エリスロポエチン製剤 | 中外 | H13.5 |

在庫がなくなり次第，変更とします。

販売中止医薬品

| 医薬品名 | 規格・単位 | 薬品分類 | 会社名 | 中止年月 |
|-----------------------|------------------|------------|------------|-------|
| ポポン-S細粒 | 配合剤 | 総合ビタミン剤 | 塩野義 | H13.3 |
| ミニマックス顆粒(アスピリン) | 500mg / g | 解熱・鎮痛・抗炎症剤 | 塩野義 | H13.3 |
| オラドール含嗽液(臭化ドミフェン) | 10mg / mL | 口内殺菌剤 | ノバルティスファーマ | H13.3 |
| ポステリザン坐薬 | 1g / 個 | 痔疾治療剤 | マルホ | H13.3 |
| ヘプタバックス-Ⅱ(沈降B型肝炎ワクチン) | 5μg / 0.25mL / V | B型肝炎ワクチン | 萬有 | H13.3 |

在庫がなくなり次第，処方中止とします。

院外処方医薬品(追加分)

| 医薬品名(成分名) | 規格・単位 | 薬品分類 | 会社名 |
|-------------------------|------------------|-------------------------|---------------|
| オメプラール錠(オメプラゾール) | 10mg / 錠 | プロトンポンプ阻害剤 | アストラゼネカ |
| ダイアート錠(アゾセミド) | 30mg / 錠 | ループ利尿剤 | 三和化学 |
| タリオン錠(バシル酸ベポタスチン) | 10mg / 錠 | アレルギー性鼻炎治療剤 | 田辺 |
| ディオバン錠(バルサルタン) | 80mg / 錠 | アンジオテンシンⅡ受容体阻害剤 | ノバルティスファーマ |
| パキシル錠(塩酸パロキセチン水和物) | 10mg, 20mg / 錠 | 選択的セロトニン再取り込み阻害剤 | スミスクライン・ビーチャム |
| ポリフル錠(ポリカルボフィルカルシウム) | 500mg / 錠 | 過敏性腸症候群治療剤 | 北陸 |
| ポリフル細粒(ポリカルボフィルカルシウム) | 833mg / g | 過敏性腸症候群治療剤 | 北陸 |
| マイスリー錠(酒石酸ゾルピデム) | 5mg, 10mg / 錠 | 入眠剤 | 藤沢 |
| モービックカプセル(メロキシカム) | 5mg, 10mg / Cp | 非ステロイド性消炎・鎮痛剤 | 第一 |
| ラニラピッド錠(メチルジゴキシン) | 0.05mg / 錠 | 強心配糖体制剤 | 山之内 |
| リピール錠(アトルバスタチンカルシウム水和物) | 5mg / 錠 | HMG-CoA還元酵素阻害剤 | 山之内 |
| ゼペリン点眼液(アシタザノラスト) | [0.1%] 5mL / 本 | アレルギー性結膜炎治療剤 | 興和 |
| チマバック点眼液(マレイン酸チモロール) | [0.5%] 5mL / 本 | 緑内障・高眼圧症治療剤 | 日本点眼薬 |
| リボスチン点眼液(塩酸レボカバスチン) | [0.025%] 4mL / 本 | H ₁ ブロッカー点眼剤 | 参天, 日本新薬 |
| リレンザ(ザナミビル水和物) | 5mg / プリスター | 抗インフルエンザウイルス剤 | グラクソ・スミスクライン |

院内処方医薬品について

* アナストロゾール Anastrozole

【商】アリミデックス Arimidex
アストラゼネカ

内用：錠剤(劇) 1錠中 1mg

【禁】妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，授乳婦，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】閉経後乳癌

【用】1日1回 1mg を投与する。

【副】Stevens-Johnson 症候群，ほてり，頭痛，無力症，嘔気，食欲不振，嘔吐，下痢，傾眠，脱毛，発疹，関節痛，硬直，性器出血，膣乾燥

【妊・授】未確立

* リン酸オセルタミビル Oseltamivir Phosphate

【商】タミフル Tamiflu ロシュ

内用：カプセル剤 1個中 75mg

【警】1．本剤を治療に用いる場合には，本剤の必要性を慎重に検討すること。2．本剤の予防効能での使用は推奨されていない。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症

【用】1回 75mg を1日2回，5日間投与する。

【副】腹痛，下痢，嘔気，嘔吐，腹部膨満，便異常，口内炎，口内不快感，食欲不振，頭痛，傾眠，不眠症，めまい，AST・ALT・Al-P・ γ -GTP 上昇，好酸球増加，白血球減少，気管支炎，咳嗽，血中ブドウ糖増加，蛋白尿陽性，背部痛，胸痛，疲労，発疹

【妊】未確立，有益のみ 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

* バルサルタン Valsartan

【商】ディオバン Diovan
ノバルティスファーマ

内用：錠剤 1錠中 80mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】高血圧症

【用】1日1回 40～80mg を投与する。1日

160mg まで増量できる。

【副】血管浮腫，肝炎，腎不全，過度の血圧低下に伴う失神・意識喪失，蕁麻疹，発疹，めまい，頭痛，眠気，白血球減少，好酸球増多，赤血球減少，ヘモグロビン減少，ヘマトクリット減少，低血圧，動悸，腹痛，下痢，便秘，嘔気，嘔吐，AST・ALT・LDH 上昇，Al-P・ビリルビン値上昇，咳嗽，咽頭炎，尿酸値上昇，BUN・クレアチニン上昇，カリウム値上昇，倦怠感，CK 上昇，浮腫，胸痛，血糖値上昇，コレステロール上昇，疲労感，総蛋白減少

【妊】不可

【授】回避，やむを得ない場合は授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

* ナフトピジル Naftopidil

【商】フリバス Flivas 旭化成

内用：錠剤 1錠中 50mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害

【用】1日1回 25mg より投与を始め，効果が不十分な場合は1～2週間の間隔をおいて50～75mg に漸増し，1日1回食後投与する。1日最高投与量は75mg までとする。

【副】発疹，痒感，めまい，頭痛・頭重，耳鳴，ふらつき，倦怠感，立ちくらみ，低血圧，便秘，胃部不快感，口渇，下痢，AST・ALT 上昇，LDH・Al-P 上昇，浮腫，悪寒，眼瞼浮腫，肩こり

* 酒石酸ゾルピデム Zolpidem Tartrate

【商】マイスリー Myslee 藤沢

内用：錠剤(向) 1錠中 10mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，重篤な肝障害のある患者，重症筋無力症の患者，急性狭隅角緑内障の患者，肺性心・肺気腫・気管支喘息及び脳血管障害の急性期などで呼吸機能が高度に低下している場合

【効】不眠症（精神分裂病及び躁うつ病に伴う不眠症は除く）

【用】1回 5～10mg を就寝直前に投与する。高

齢者には 1 回 5mg から投与を開始する。1 日 10mg を超えないこととする。

【副】薬物依存，減量・中止による離脱症状，錯乱，幻覚，興奮，脱抑制，一過性前向性健忘，呼吸抑制，炭酸ガスナルコーシス，ふらつき，眠気，頭痛，残眠感，頭重感，めまい，不安，悪夢，気分高揚，白血球増多，白血球減少，ALT・ γ -GTP・AST・LDH 上昇，蛋白尿，悪心，嘔吐，食欲不振，腹痛，下痢，動悸，発疹，痒感，倦怠感，疲労，下肢脱力感，口渇，複視，不快感，錯視

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】分割後遮光

* ロルノキシカム Lornoxicam

【商】ロルカム Lorcam 大正

内用：錠剤(劇) 1錠中 4mg

【禁】消化性潰瘍のある患者，重篤な血液の異常のある患者，重篤な肝障害のある患者，重篤な腎障害のある患者，重篤な心機能不全のある患者，重篤な高血圧症のある患者，本剤の成分に対して過敏症のある患者，アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者，妊娠末期の婦人

【効】 下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛：慢性関節リウマチ，変形性関節症，腰痛症，頸肩腕症候群，肩関節周囲炎 手術後・外傷後及び抜歯後の消炎・鎮痛

【用】 慢性関節リウマチ・変形性関節症・腰痛症・頸肩腕症候群・肩関節周囲炎の消炎・鎮痛：1 回 4mg を 1 日 3 回食後に投与する。1 日 18mg を限度とする。 手術後・外傷後及び抜歯後の消炎・鎮痛：1 回 8mg を頓用する。1 回量は 8mg まで，1 日量は 24mg まで，投与期間は 3 日までを限度とする。

【副】消化性潰瘍，消化管穿孔，再生不良性貧血，無顆粒球症，骨髓機能抑制，急性腎不全，ネフローゼ症候群，Stevens-Johnson 症候群，Lyell 症候群，ショック，アナフィラキシー様症状，発疹，痒感，蕁麻疹，口唇腫脹，アレルギー性紫斑病，頭痛，めまい，眠気，しびれ，傾眠，視力異常，耳鳴，腹痛，腹部不快感，嘔

気，嘔吐，消化不良，下痢，食欲不振，口内炎，腹部膨満，便秘，胃炎，口渇，便潜血陽性，血便，おくび，苦味，口角炎，食道炎，ヘモグロビン減少，赤血球減少，ヘマトクリット値減少，血小板減少，好酸球増多，好中球増多，白血球減少，ALT・AST・Al-P 上昇，ウロビリノーゲン陽性，尿中 NAG 上昇，BUN 上昇，尿蛋白陽性，高尿素窒素血症，蛋白尿増加，クレアチニン上昇，浮腫，倦怠感，季肋部疼痛，悪寒，浮遊感，血尿，高尿酸血症，咽頭炎，関節痛，眼球充血，胸痛，高血圧，体重減少，動悸，尿閉，熱感，鼻炎，頻尿，夜間頻尿

【妊】未確立，有益のみ，妊娠末期：不可

【授】授乳中止

【小】未確立

* dl-塩酸イソプロテレノール

dl-Isoproterenol Hydrochloride

【商】アスプール Asthpul アズウェル

外用：液剤 0.5% (50mL)

【禁】エピネフリン等のカテコールアミンを投与中の患者，頻脈性不整脈を合併する患者

【効】 下記疾患にもとづく気管支痙攣の緩解：気管支喘息，急性気管支炎，慢性気管支炎，気管支拡張症，肺気腫

【用】ネブライザーなどを用い，1 回 3mg を自然呼吸下 3～10 分でエアゾール吸入する。

【副】重篤な血清カリウム値の低下，発疹，心悸亢進，顔面潮紅，頻脈，血圧変動，顔面蒼白，頭痛，振戦，めまい，神経過敏，悪心，発汗，気道刺激症状

【妊】有益のみ

【貯】遮光

* タクロリムス水和物 Tacrolimus Hydrate

【商】プロトピック Protopic 藤沢

外用：軟膏剤(劇) 0.1% (5g)

【警】1. 糜爛・潰瘍面（搔破痕を含む）に使用した場合，血中濃度が高くなり，腎障害等の副作用が発現する可能性があるため，糜爛・潰瘍面（搔破痕を含む）を有する患者では，あらかじめステロイド外用剤等で治療するなどの処置を講じ，糜爛・潰瘍面（搔破痕を含む）の改善を確認した後，本剤の使用を開始すること。2. 低出生体重児（未熟児），新生児，乳児，幼児

又は小児では本剤の使用経験がないため、経皮吸収については不明であり、安全性も確立していないので使用しないこと。

【禁】糜爛・潰瘍面（掻破痕を含む）への使用、高度の腎障害・高度の高カリウム血症のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、PUVA療法等の紫外線療法を実施中の患者、皮膚感染症を伴う患者

【効】アトピー性皮膚炎

【用】1日1～2回、適量を患部に塗布する。1回あたりの塗布量は5gまでとする。

【副】皮膚の熱感・疼痛・痒感、皮膚の細菌性感染症、皮膚のウイルス性感染症・真菌性感染症、瘡、瘡様皮疹、丘疹、皮膚乾燥、刺激性接触皮膚炎、上気道炎、リンパ節炎、頭痛、頭重感

【妊】不可 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立、不可

* ザナミビル水和物 Zanamivir Hydrate

【商】リレンザ Relenza

グラクソ・スミスクライン

外用：吸入剤 1ブリスター中5mg

【警】1. 本剤を治療に用いる場合は、本剤の必要性を慎重に検討すること。2. 本剤の予防投与における有効性及び安全性は確立していない。

【禁】本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【効】A型又はB型インフルエンザウイルス感染症

【用】1回10mgを1日2回、5日間、専用の吸入器を用いて吸入する。

【副】アナフィラキシー様症状、気管支攣縮、呼吸困難、発疹、蕁麻疹、顔面浮腫、頭痛、手指のしびれ感、不眠症、下痢、咽頭乾燥、口渇、口内炎、舌あれ、食欲不振、胃部不快感、悪心・嘔吐、嘔声、咽頭刺激感、鼻道刺激感、喘鳴、鼻出血、鼻漏、痰、耳鳴、臭覚障害、動悸、発汗、発熱、頸部痛、背部痛

【妊】未確立、有益のみ

【授】未確立、授乳回避

【小】未確立

* 硫酸アトロピン Atropine Sulfate

【商】アトクイック Atquick 田辺

注射：液剤(劇) 1筒(1mL)中0.5mg

【禁】緑内障の患者、前立腺肥大による排尿障害のある患者、麻痺性イレウスの患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】胃・十二指腸潰瘍における分泌並びに運動亢進、胃腸の痙攣性疼痛、痙攣性便秘、胆管・尿管の痙攣、有機燐系殺虫剤・副交感神経興奮剤の中毒、迷走神経性徐脈及び迷走神経性房室伝導障害、麻酔前投薬、その他の徐脈及び房室伝導障害、ECTの前投与

【用】通常、0.5mgを皮下又は筋注する。場合により静注することもできる。有機燐系殺虫剤中毒：[軽症]0.5～1mgを皮下注する。[中等症]1～2mgを皮下・筋注又は静注する。必要があれば、その後20～30分毎に繰り返し注射する。[重症]初回、2～4mgを静注し、その後症状に応じてアトロピン飽和の徴候が認められるまで繰り返し注射を行う。ECTの前投与：1回0.5mgを皮下・筋注又は静注する。

【副】散瞳、視調節障害、緑内障、口渇、悪心・嘔吐、嚥下障害、便秘、排尿障害、頭痛、頭重感、記憶障害、心悸亢進、呼吸障害、発疹、顔面潮紅

【妊・授】回避

【小】未確立

【貯】遮光

* エピネフリン Epinephrine

【商】エピクイック Epquick テルモ

注射：液剤(劇) 1筒(1mL)中1mg

【禁】ハロゲン含有吸入麻酔薬（ハロタン等）・抗精神病薬（ブチロフェノン系・フェノチアジン系等）・遮断薬・カテコールアミン製剤（イソプロテレノール等）・アドレナリン作動薬を投与中の患者、狭隅角や前房が浅いなど眼圧上昇の素因のある患者（点眼・結膜下注射使用時）、本剤に対し過敏症の既往歴のある患者、交感神経作動薬に対し過敏な反応を示す患者、動脈硬化症の患者、甲状腺機能亢進症の患者、糖尿病の患者、心室性頻拍等の重症不整脈のある患者、精神神経症の患者、コカイン中毒の患者

【効】下記疾患に基づく気管支痙攣の緩解：

気管支喘息，百日咳 各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療
心停止の補助療法

【用】1回 0.2～1mg を皮下注又は筋注する。蘇生などの緊急時には，1回 0.25mg を超えない量を生理食塩液等で希釈し，できるだけゆっくりと静注する。必要があれば，5～15分毎に繰り返す。

【副】肺水腫，呼吸困難，心停止，心悸亢進，胸内苦悶，不整脈，顔面潮紅・蒼白，血圧異常上昇，頭痛，めまい，不安，振戦，過敏症状，悪心・嘔吐，熱感，発汗，眼瞼・結膜の色素沈着，鼻涙管の色素沈着による閉鎖，角膜の色素沈着，黄斑部浮腫，微小出血，血管痙攣，結膜・眼瞼・目のまわりの過敏症状，結膜充血，眼痛，全身症状

【妊】有益のみ 【授】未確立，回避，やむを得ない場合は授乳回避

【小】未確立，慎重

【貯】遮光

*シプロフロキサシン Ciprofloxacin

【商】シプロキサシ Ciproxan パイエル

注射：液剤 1瓶(150mL)中 300mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，ケトプロフェンを投与中の患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，小児等

【効】敗血症，外傷・熱傷・手術創等の表在性二次感染，肺炎，胆嚢炎，胆管炎，腹膜炎

【用】1回 300mg を1日2回点滴静注する。点滴静注に際しては，1時間かけて投与する（30分以内の点滴静注は避ける）。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，偽膜性大腸炎，横紋筋融解症，間質性肺炎，Lyll症候群，Stevens-Johnson 症候群，急性腎不全，痙攣，アキレス腱炎，腱断裂，肝機能障害，黄疸（肝壊死等），錯乱，抑うつ，無顆粒球症，汎血球減少，重症筋無力症の悪化，血管炎，低血糖，光線過敏症，発赤，発疹，痒，蕁麻疹，発熱，浮腫，BUN・クレアチニン上昇，AST・ALT 上昇，ALP・LDH・ γ -GTP 上昇，血小板減少，赤血球減少，白血球減少，ヘモグロビン減少，ヘマトクリット減少，好酸球増多，貧血，食欲不振，胃不快感，腹部膨満感，口内炎，嘔吐，腹痛，下痢，嘔気，振戦，しびれ感，眠気，

めまい，頭痛，投与部位の血管痛・静脈炎，筋肉痛，関節痛，倦怠感，味覚異常，眼内異物感

【妊】未確立，不可

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立，不可

*酢酸ゴセレリン Goserelin Acetate

【商】ゾラデックス Zoladex キッセイ

注射：(劇) 1筒中 1.8mg

【禁】診断のつかない異常性器出血の患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，授乳中の婦人，本剤の成分又は LH-RH 作動薬に対し過敏症の既往歴のある者

【効】子宮内膜症

【用】本剤 1.8mg を前腹部に4週毎に1回皮下注する。

【副】アナフィラキシー，のぼせ，ほてり，性器出血，乳房緊満感，腔乾燥感，性欲減退，AST・ALT・ γ -GTP・LDH 上昇，肌荒れ，瘡，発疹，頭痛，発汗，めまい，不眠，しびれ感，いらいら感，不安，抑うつ，高血圧，低血圧，心悸亢進，冷感，嘔気，嘔吐，肩こり，関節痛，腰痛，血清カルシウム値上昇，血清リン上昇，注射部位の軽度の皮下出血，倦怠感，浮腫，活性化部分トロンボプラスチン時間延長，トリグリセライド上昇，コレステロール上昇

【妊・授】不可

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】冷所

*沈降 B 型肝炎ワクチン

Adsorbed Hepatitis B Vaccine

【商】ビームゲン Bimmugen 藤沢

注射：液剤(劇) 1瓶(0.25mL)中 5 μ g

【禁】明らかな発熱を呈している者，重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者，本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者，上記に掲げる者のほか予防接種を行うことが不適当な状態にある者

【効】B型肝炎の予防，B型肝炎ウイルス母子感染の予防（抗 HBs 人免疫グロブリンとの併用），HBs 抗原陽性でかつ HBe 抗原陽性の血液による汚染事故後の B型肝炎発症予防（抗 HBs 人免疫グロブリンとの併用）

【用】 B型肝炎の予防：10 μ g ずつを4週間隔

で 2 回，更に，20～24 週を経過した後に 1 回 10 μ g を皮下又は筋注する。10 歳未満の者には，5 μ g ずつを同様の投与間隔で皮下注する。 B 型肝炎ウイルス母子感染の予防（抗 HBs 人免疫グロブリンとの併用）：5 μ g を 1 回，生後 2～3 カ月に皮下注する。更に 5 μ g ずつを初回注射の 1 カ月後及び 3 カ月後の 2 回，同様の用法で注射する。 HBs 抗原陽性でかつ HBe 抗原陽性の血液による汚染事故後の B 型肝炎発症予防（抗 HBs 人免疫グロブリンとの併用）：10 μ g を 1 回，事故発生後 7 日以内に皮下又は筋注する。更に 10 μ g ずつを初回注射の 1 カ月後及び 3～6 カ月後の 2 回，同様の用法で注射する。10 歳未満の者には，5 μ g ずつを同様の投与間隔で皮下注する。ただし，能動的 HBs 抗体が獲得されていない場合には追加注射する。

【副】多発性硬化症，急性散在性脳脊髄炎，発熱，発疹，注射部位の疼痛・痒感・腫脹・硬結・発赤・熱感，嘔気，下痢，食欲不振，頭痛，倦怠感，違和感，関節痛，筋肉痛

【妊】未確立，有益のみ

【貯】遮光，10 以下

*リドカイン Lidocaine

【商】リドクイック Lidoquick テルモ

注射：液剤(劇) 1筒(5mL)中 100mg

【禁】重篤な刺激伝導障害（完全房室ブロック等）のある患者，本剤の成分又はアニリド系局所麻酔薬に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】期外収縮（心室性），発作性頻拍（心室性），急性心筋梗塞時及び手術に伴う心室性不整脈の予防，期外収縮（上室性），発作性頻拍（上室性）

【用】〔1 回静注法〕1 回 50～100mg（1～2mg/kg）を，1～2 分間で，緩徐に静注する。効果が認められない場合には，5 分後に同量を投与する。効果の持続を期待する時には 10～20 分間隔で同量を追加投与してもさしつかえないが，1 時間内の基準最高投与量は 300mg とする。

【副】刺激伝導系抑制，ショック，意識障害，振戦，痙攣，悪性高熱，譫妄，めまい，眠気，不安，多幸感，嘔吐，しびれ感

【妊】未確立，有益のみ 【授】未確立，回避，やむを得ない場合は授乳回避

【小】未確立